

あさひの日だまり

令和5年12月26日(火)

NO.32

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～1年間お世話になりました～

よいお年をお迎えください

今日をもって令和5年の登校日が終わりました。各ご家庭の皆様には本当にお世話になりました。お子様のことに
関して至らぬことばかりであったことと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

子どもたちが楽しいと思う学校に。子どもたちが自分の力で自分の人生を切り拓いていかれる力を育む学校に。そ
んなことを願って日々辰野東小学校の職員一同子どもたちの前に立ってまいりました。しかしながら「学校行きたく
ないな」と玄関先でつぶやくお子さんの姿に、胸が押しつぶされそうな思いをされたご家庭もあったことと思うので
す。そんな折には「学校がしっかりして欲しい」とお思いになったはずです。ご家庭の願いにこたえられない学校で
いつまでもいてよいはずはありません。職員一同互いに切磋琢磨し、来年こそは、ご家族の思いにこたえられるよう
努めてまいります。来年もよろしくお願いいたします。

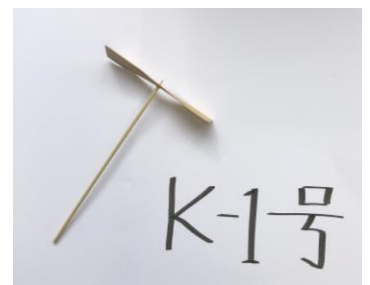
子どもたちにとって、そしてご家族の皆様にとって来年がよい年となりますように心からお祈り申し上げます。
終業式にお話しした内容を書かせていただきます。目を通していただけたら幸いです。

これから二つの話をします。



一つ目は「校長先生の自主学習 ～もっと飛
ぶ竹とんぼ作り～」です。

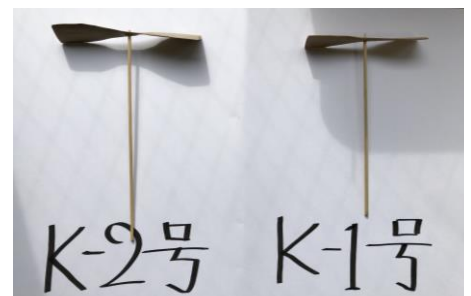
校長先生ね、よく飛ぶ竹とんぼ作りにず
っと挑戦していたんです。いくつもいくつも竹
トンボを作りました。だんだん上手に作れる
ようになりました。そしてよく飛ぶ竹とんぼ
が1つできました。それがこの竹トンボ。名
前を付けました。それはK-1号です。



K-1号は本当によく飛ぶんです。校長先生は嬉しくなって毎日竹とんぼを眺めていました。K-1号よりよく飛ぶ竹
とんぼはできそうにないぞって思いました。

ところがある日布団の中で、もっと良く飛ぶ竹とんぼの作り方が浮かんだん
です。「これはよく飛ぶに違いない!」と思いました。さっそく次の日学校へ来て竹
トンボを作りました。それがこれです。名付けてK-2号。

皆さんK-2号はどこがグレードアップしているかわかりますか?よ～く見て下
さい。・・・・・・そうです。羽を大きくしてみたんです。羽がおっきいんだか
ら絶対K-1号より高～く遠くへ飛ぶはずですよ。



どうしたらもっと良く飛ぶようになるだろう?校長先生は挑戦を続けました。

そして生まれたのがこのK-3号です。竹を極限まで削って超軽量級竹トンボを作り
ました。重さ何とたったの2gです。さあ飛ばしますよ。

次に思い切って羽の形をこんなのにしてみました。K-4号です。飛ばしてみますね。

未だにK-1号を超えるすごい竹トンボは現れません。

考えに考えました。そしてついに校長先生は、K-1号をパワーアップする作戦を思
いついたんです。どんな作戦だと思いますか?

内緒です。校長先生はこの休みその作戦を実行します。もっと高くまで飛ぶ竹とん

ぼ作りに挑戦します。休み明けにみなさんに報告します。楽しみにしてください。

皆さんに一つお願いがあります。もうわかりますね。そうです。この休みに「挑戦すること」を決めて下さい。休み中の挑戦でもいいです。来年ずっと挑戦し続けたいことでもいいです。休み明け、みなさんの挑戦について聞けることを楽しみにしています。

二つ目のお話です。

ある人から学校へ野球のグローブを3ついただきました。これがそのグローブです。

せっかくもらったグローブです。見るだけじゃもったいないので、このグローブでキャッチボールをしてもらおうと思います。

野球チームに入っていた6年生の福田真瑚さん、三澤好誠さん前へどうぞ。もうお一人、来年のドラフトを狙っている高野祥汰先生お願いします。

「使い心地はどうですか？」

日本の一人のプロ野球選手が自分の夢を追い求め、日本のプロ野球をやめて海を渡りアメリカのプロ野球に挑戦しました。アメリカのプロ野球のことを大リーグと言います。その選手は現在大リーグで活躍しています。そして、WBC（野球の世界大会のことですね）で日本の代表選手になりました。

そして今や、大リーグの中で最も有名な選手の一人になっています。

この3つのグローブはその選手からの贈り物です。

皆さんに挑戦することのすばらしさを、そして夢を追い続けることのすばらしさを伝えてくれるグローブです。

グローブを送って下さった選手の名前を大谷翔平選手と言います。

次のシーズンを「ロサンゼルス・ドジャース」というチームの一員として戦うことになっています。

最後に、大谷選手が語った3つの言葉を紹介します。

一つ目です。「先入観は可能を不可能にする」という言葉です。

世の中、やってみなきゃわからない。ということですね。校長先生もいつもそう思っています。やらずに後から「やってみりゃよかった」と思うより、やって失敗した方がずっと楽しいと思います。

二つ目です。「今日はたまたま打てた。だから、もっと上手になるために練習を頑張る」という言葉です。

大谷選手ほどの選手も、もっと練習して上手になりたいと頑張るんですね。私たちが上手いいかないことにぶつかることなんてぜんぜん気にすることはないんですね。

三つ目です。「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾う。そして、自分自身にツキを呼ぶ」という言葉です。

大谷選手が球場のゴミを拾う姿が度々テレビで放送されます。みなさん目の前に落ちているごみを一つ拾ってみませんか。何か一つよいことが転がり込んでくるかもしれません。

このグローブは校長室に置いておきます。キャッチボールがしたい人は借りに来てください。グラウンドでやってもらってよいですが、周りの人にボールがぶつからないように注意してやってくださいね。使い終わったらまた校長室へ返してください。

校長先生のお話はこれで終わります。それではみなさんよいお年をお迎えください。

連絡 東小では、「あさひ相談室」（中校舎1階の保健室です）という部屋を設置し、養護教諭が担当しています。児童や保護者の皆様、悩みや相談事がありましたらご利用ください。電話の相談でも結構です（TEL：0266-41-0066）。

オクレンジャー - 送信のお願い

休みの後半3日間（7・8・9日）オクレンジャーにて健康観察をお願いいたします。